

## 神奈川県保健医療計画 進捗状況評価調書

<項目>

第3章 医療従事者の確保対策の推進

第1節 医師

とりまとめ担当課：健康医療局保健医療部医療課

### 1 課題に対するこれまでの取組実績

#### (1) 医師の養成・確保対策の推進

- 平成27年10月に地域医療支援センターを設置し、センターの業務内容や運営のあり方について、地域医療支援センター運営委員会を開催し、検討を行った。  
(H29：3回、H25からの累計8回)
- 医師養成数の増加が可能となるための規制緩和をはじめ、医師臨床研修制度における募集定員の上限の見直しや、新たな専門医制度による診療科や地域における医師の偏在解消への誘導等、必要な医師を配置する仕組みを構築するよう、国に要望書「国の施策・制度・予算に関する提案を提出した。(H25～H29)
- 神奈川県産科等医師修学資金貸付制度及び神奈川県地域医療医師修学資金貸付制度を活用した修学資金貸与医師の臨床研修修了後の勤務先医療機関について、地域医療支援センターで検討を行い、医療対策協議会で協議の上、8名を配置した。(H29：8名、H28からの累計11名)
- 自治医科大学出身者の勤務先医療機関について、受入調整会議で協議の上、延べ91名を配置した。(H29：19名、H25からの累計延べ91名)
- 総合診療医の養成を含む、地域医療に貢献する医療人材の一層の確保・育成等の分野における横浜市立大学との包括連携協定の締結(平成26年1月)を踏まえ、横浜市立大学が行う医師不足地域の医療機関と連携した総合診療専門医の育成に対して助成した。  
(H29：11,362千円 H26からの累計33,390千円)
- 地域枠学生を対象として、地域枠学生同士や地域医療に造詣の深い医師と懇談する場として「県内医学部学生と地域医療について語る会」を開催した。  
(H29：1回、H27からの累計3回)
- 地域枠学生1年生を主対象としたガイダンスを県内4医科大学において開催した。  
(H29：5回)
- 県内の臨床研修病院に勤務する臨床研修医を対象として、臨床研修医同士や県内の病院関係者、医療関係団体等と懇談する場として「臨床研修医交流会」を開催した。  
(H29：1回、H28からの累計2回)
- 全国の医学部生を対象として、県内の臨床研修病院を集めた「臨床研修病院合同説明会」を神奈川県医師会と共催した。(H29：1回、H27からの累計3回)
- 地域医療支援センターのホームページ上に「医師募集情報」の掲載ページを作成し、医師の採用を募集する医療機関や就職を希望する医師を支援した。(平成28年度末～)

(2) 勤務環境の改善と医師負担軽減の取組みの推進

- 平成 27 年 1 月 5 日に医療勤務環境改善支援センターを設置し、医療機関による勤務環境改善の取組を支援した。(H29 : 32 件、H26 からの累計 184 件)
- 県内 4 医科大学が行う大学病院(特定機能病院)勤務医の負担軽減及び処遇の改善を図るため、医師の事務作業を代行する医師事務作業補助者の配置に対して助成した。(H26, H27)

2 参考指標の推移

取組区分	指標区分	指標名	単位	神奈川県				出典等
				H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	
(1)	その他	医療施設従事医師数 (人口 10 万人当たり)	人	193.7 (H24)	193.7 (H24)	201.7 (H26)	205.4 (H28)	医師・歯科医師・薬剤師調査

3 課題ごとの進捗状況の評価

(1) 医師の養成・確保対策の推進

評価	A ・ B ・ C ・ D
評価分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治医科大学出身者については、受入調整会議で検討の上、勤務先医療機関を決定し、延べ 91 名を配置した。</li> <li>・平成 27 年 10 月に神奈川県地域医療支援センターを設置し、地域医療支援センター運営委員会で検討、医療対策協議会で協議の上、修学資金貸与医師の勤務先医療機関を決定し、11 名を配置した。</li> <li>・参考指標に掲げる県内の医療施設従事医師数は引き続き増加しているものの、人口 10 万人当たりの医師数は引き続き全国 39 位と全国平均を下回っている。(平成 28 年医師・歯科医師・薬剤師調査)</li> </ul>
評価理由	<p>地域医療支援センターを設置するとともに、医師確保対策に効果的な取組の検討を行った。また、自治医科大学出身者や修学資金貸与医師を県内医療機関に配置するなど、比較的順調に進捗している。</p>
第 7 次計画 (H30~H35) での取組の 方向性	<p>P144</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療対策協議会や地域医療支援センター運営委員会等における医師確保対策にかかる分析や協議等を踏まえ、県内医科大学の地域枠出身者や自治医科大学出身者等を県内の医療機関に配置することにより、診療科や地域による医師の偏在の解消に取り組むとともに、県内定着を図ります。</li> <li>・現状の医師不足及び診療科や地域による医師の偏在、医師の勤務環境の改善には、県内に勤務する医師数の増加が必要であり、県内の医師養成数の増加が可能となるよう国に規制の緩和を働きかけていきます。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅医療等の医療需要の増加に対応するためには、在宅医療等を担う医師を十分確保する必要があることから、研修等を通じた教育の機会を継続的に設け、関係団体と連携し、在宅医療をはじめ、地域包括ケアシステムにかかわる医師の育成を行います。【一部再掲】</li> <li>・新専門医制度については、地域医療への影響を多様な角度から分析するとともに、同制度が県の地域医療に資するために必要な提言を一般社団法人日本専門医機構や国等に対して行っていきます。また、医療機関や専門研修を希望する医師等に対しては、県内の基幹施設や専門研修プログラム等、専門研修に関する必要な情報を提供していくことで、県で専門研修を行う医師の誘導を図っていきます。</li> </ul>
--	--

## (2) 勤務環境の改善と医師負担軽減の取組みの推進

評価	A ・ <b>B</b> ・ C ・ D
評価分析	平成 27 年 1 月に神奈川県医療勤務環境改善支援センターを設置し、医療機関による勤務環境改善の取組を支援した。
評価理由	神奈川県医療勤務環境改善支援センターを設置し、医療機関による勤務環境改善の取組を支援しており、課題解決に向けた医療機関への普及、啓発について比較的順調に進捗している。
第 7 次計画 (H30～H35) での取組の方向性	<p>P144</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・離職防止や定着促進、医療安全の確保等を図るため、国における長時間労働の是正のための「働き方」に関する検討内容も踏まえながら、医療勤務環境改善支援センターにおいて、医師をはじめとした医療従事者の勤務環境改善に主体的に取り組む医療機関を支援していきます。</li> <li>・女性医師の出産・育児等と勤務との両立を可能とし、離職防止・復職支援を図るため、働きやすい就業環境づくりを支援していきます。</li> </ul>

## 4 総合評価

評価	評価理由
<b>B</b>	臨床研修医や専門医の取得を目指す後期研修医に対する魅力ある研修体制の確立や地域内診療所と病院の連携、医療機関によるネットワーク化、医療資源の集約化や病院機能の拠点化などの検討については、やや進捗が遅れているものの、その他の課題については、国の通知に従い比較的順調に進捗している。